



さくら小 とくの日だより

令和6年7月19日 No.4



4年生の授業の様子について紹介します。

「心の信号機」 親切・思いやり

「ぼく」は目の不自由な男の人が横断歩道を渡れない様子に気付くが、知らない人に声をかけることへの不安や緊張があり、なかなか声をかけられない。しかし、迷いながらもこのままではだめだと勇気を出して声をかけることができた。男の人は「ぼく」のおかげで横断歩道を渡ることができ、その「ぼく」の親切な行動に何度も感謝の気持ちを伝えた。

【授業の目的】

迷いながらも勇気を出して声をかけた「ぼく」の気持ちについて話し合いました。「ぼく」の気持ちを通して、よりよい人間関係を構築するためには、お互いが相手に対して思いやりの心をもって接することの大切さについて考えました。「これから親切にしていきたいことはどんなことですか。」という教師の問いに対して、子供たちからは、「勇気を出して自分から親切な行いをしたい。」「家族や友達以外の人にも親切にしていきたい。」「相手に寄り添う心をもって親切にしたい。」などの意見が出ました。

【授業者から】

4年生は、学校生活の中で係活動に進んで取り組み、行動したり、友達にいけないことはいけないと注意したりと中学年のリーダーとして意識が高まってきています。しかし、友達を注意するとき相手の状況を考えずに自分の都合だけで注意したり、声を荒げたりして衝突する場面も少なくないです。授業では、困っている人がいるときに相手の気持ちや置かれている状況を想像することで親切・思いやりについて考え、話し合いました。その中で、相手の立場を十分に理解し、困っている人を助けようとする思いやりや親切について深く考える良い機会となったと思います。

ちょこっと紹介 4年生 「いろいろな親切・思いやり」

みんなで「親切・思いやり」について真剣に考えました。

緊張しながら取り組んだ自転車免許講習。慣れない自転車でよろけている友達に「がんばれ」と優しく声をかけていました。

社会科見学で、環境センターに行きました。ゴミ処理の過程を見学したとき、ガラスの間からみんなが見られるように「ぼくはもう見たから、次見ていいよ。」と譲り合っている声が聞こえてきました。

のびのび教室で、お菓子や飲み物に入っている油の量や砂糖の量を実物で見せてもらいました。友達に渡すときには、「どうぞ。」「気を付けてね。」などと言って、こぼさないように丁寧に渡していました。

選手として出場した市内陸上大会。会場に行けない人たちも学校から応援しました。大会前日には応援のメッセージを送っている人やリラックスして大会に臨めるように気遣ってあげている様子が見られました。応援の力もあり、入賞することができました。

【児童の振り返り】

○今日の学習を振り返りながら、今までに自分が親切にできなかったことやこれから親切にしていきたいことについて書きましょう。

くばり物を多く持っている人にくばろうかと言ってあげたいです。

○今日の学習を振り返りながら、今までに自分が親切にできなかったことやこれから親切にしていきたいことについて書きましょう。

こま、ている人がいたら必ず助ける。
ごんなんももやう気を持って助けにい

○今日の学習を振り返りながら、今までに自分が親切にできなかったことやこれから親切にしていきたいことについて書きましょう。

●こま、ている人がいたらだれでも声をかけてあげたい。
●ごんなんももやう気を持って助けたい。
●心細そうにしていらんかいたらだれでも声をかけてあげたい。

○今日の学習を振り返りながら、今までに自分が親切にできなかったことやこれから親切にしていきたいことについて書きましょう。

知らない人には親切にできなかつたから、これから親切にしていきたいことについて書きましょう。

ぜひ、ご家庭でも、親切・思いやりについて伝え合ったり、話し合ったりしてみてください。